

■ 機 関 紹 介 ■

会社概要

当社は、大気汚染による公害問題で有名となった三重県四日市市に本社を置き、四日市市と松阪市にある分析センターを拠点として主に三重県内を中心に事業を営んでいる。顧客の持続可能性に貢献することを理念に、環境調査分析のほか、環境コンサルティングや研修業務（ISO14000関連）、環境計測に関わる IT システムの開発、作業環境改善や公害防止および省エネのための設備・計器の提案・施工・保守までと、トータルで顧客の環境保全ニーズに応えられるサービスや商品の提供に取り組んでいる。

沿革

昭和47年12月：東海ボイラー管理センター設立

昭和51年2月：濃度計量証明事業所登録

昭和52年3月：作業環境測定機関登録

昭和61年12月：作業環境の改善設備の設計・施工業務を開始

平成3年12月：株式会社東海テクノに社名変更

平成9年4月：ISO9001認証取得

平成12年4月：ISO14001認証取得

平成14年10月：特定計量事業所登録

平成16年12月：ISO/IEC17025（プラスチック中のカドミウム、鉛）認定取得※現在は、土壤含有量分析（砒素、鉛）、EPA法による排出ガス中のダイオキシン類のISO/IEC17025取得

平成18年2月：アスベスト分析（建材・吹付け材）サービス開始

平成23年1月：中国の天津市に東海（天津）環境科技有限公司設立

平成24年3月：水道GLP認定取得

業務内容

(1) 作業環境測定（粉じん、有機溶剤、特化物、金属類、騒音）

(2) 水質、大気、土壌、騒音、振動のほか、ダイオキシン類測定、悪臭測定、アスベスト分析、シックハウス測定、製品分析、土壤汚染調査、水道水分析、温泉分析等

(3) 自動計測器のメンテナンス、作業環境改善や公害防止のためのシステムの提案、施工

(4) 内部監査員養成セミナーをはじめ、環境出張セミナーや環境キーパーソン育成セミナー他

作業環境測定の実施状況

主として三重県を中心に作業環境の測定業務を行い、平成23年度の分野別比率としては、粉じん22.8%、特定化学物質11.8%、金属類6.1%、有機溶剤48.2%、騒音11.1%の割合であった。

毎年ほぼ同じ水準で推移しており、当社はダイオキシン類の作業環境測定および局所排気装置の点検、検査等も行っている。

おわりに

当社の所在する四日市市には、「公害」という不幸な歴史があるが、市民はもとより産学官をあげて改善に取り組み、世界に誇れる大きな成果をあげてきた。その後、「公害」というカテゴリは「環境」というもっ

と広い範囲に及び、今私たちは人類・地球の「持続可能性」に真剣に取り組む時代の中にいる。このような中、私たちはお客様の事業と環境の調和を目指す経営を「環境」を「はかる」・「まもる」・「つなぐ」技術力と提案力で支援し、大気・水質・土壌・廃棄物など静脈系から製品品質評価や新エネルギー・資源リサイクル開発支援といった動脈系まで幅広いお客様ニーズに対応した商品・サービス展開に取り組んでいる。



株式会社東海テクノ
四日市分析センター

<http://www.tokai-techno.co.jp>